

福岡でOSSコミュニティを運営してきて

2008.11.25



日本PostgreSQLユーザ会九州支部

一応PostgreSQLの説明

- 「ポストグレエスキューエル」、「ポストグレス」、「ポストグレ」と略される。
- 1987年、カリフォルニア大学バークレー校生まれ。
- 無料で利用できるオープンソースのオブジェクトリレーショナルデータベース管理システム(ORDBMS)です。
- BSDライセンス。
- 名前が変わるかも・・・英語圏で発音しづらいらしい。
- 最新バージョンは、8.3.5 (2008.11.3 release)



本家のサイトとJPUGのサイト



<http://www.postgresql.org/>



<http://www.postgresql.jp/>

僕はJPUGのマスコットなのだ



日本PostgreSQLユーザ会とは

- JPUG(Japan PostgreSQL Users Group) ポスグレのコミュニティの中では世界最大規模(以下JPUG)。他にアメリカ・フランスなど。
- 1996年12月9日にMLとしてスタート。
- 1999年7月23日設立総会および第1回理事会を開催し、任意団体として活動を開始。
- 2006年2月1日からはすべての業務をNPOに移管。
- 現在ウェブ会員、正会員、協賛会員がある。
- 協賛会員は一口6万円/年間 運営の活動資金である。



JPUGの組織図

- 関東(東京)を本部として、全国に支部を形成
北海道、東北、新潟、名古屋、関西、四国、中国、九州、
沖縄と全国に9支部(2008年11月現在)

ほぼ全国って言っている感じ。



JPUGについて

- 各支部の支部長は、理事 (会社で言う取締役)扱い。
- 毎月行われる、理事会に参加義務(委任状の提出)が求められる。
- 理事会の決定を重視、時間が無いもの等はMLにて承認。
- 各支部は、本部から予算を割り振りされ、年間活動を計画し、独自に支部の活動をおこなっている。
- 分科会の形成
会報分科会、文書・書籍関連分科会、Webサイト管理分科会等、それぞれの活動をおこなっている。



JPUGの活動内容

- 海外に行ったり、海外から講師をお招きしたりとワールドワイドな活動をしています。
- 定例行事(本部)
 - 事例紹介セミナー
 - PostgreSQLカンファレンス(活動報告)
 - 合宿(2月23.24日に嬉野温泉にて)
 - その他、OSC(オープンソースカンファレンス)及び、DevelopersSummit 等各種セミナーへの参加
- 各支部ベースでの、勉強会やセミナー
ほとんどの支部で、講師お招きセミナーや勉強会を行っています。



JPUGについてまとめ

組織って感じですね。



JPUG九州支部について

- 当支部は、JPUGの九州支部としてPostgreSQLの九州における普及を目的としたユーザ・グループです。
- 2002年6月15日に日本ポストgresユーザー会により正式承認されました。(現在、6年半運営)
- 初代支部長は、案浦 浩二さん。現職の清末は2代目。
- 現在九州支部の会員数(ML登録数)は68名です。
(2008年11月10日現在) 随時募集中です。

事務局

〒810-0042 福岡市中央区薬院3-13-11 4F

TEL 092-525-0081 FAX 092-525-0082

支部長 清末 直 (株式会社アイティマネジメント)

副支部長 江藤 博文 (佐賀大学学術情報処理センター)



九州支部の立ち上げについて

- 最初は、MLのオフ会がきっかけ。
 - ー おもしろそう。人と会える。
- 初代支部長の案浦さんの呼びかけ。
 - ー 本部に知り合いがいた。
- 社会的貢献への考え。
 - ー 恩恵を受けるだけの立場からの脱却。

では、なぜ今支部長してるの？



支部長になった理由

初期メンバーで一番若かったから。

おしつけられた??



支部長になって考えた事

とりあえず、もりあげなきゃ。

でないと、次の引き受け手がいない(T_T)

回る仕組みを作らないと

じゃないと、退任できない(T_T)



まじめに、回る仕組みを考える。

スケジュールを決めてしまえ！！

毎月、第二金曜日は、定例会。
6月に、勉強会(一回目)
9月に、セミナー
12月に、OSCに参加(あれば)……あるのですが
3月に、勉強会(二回目)
これだけで、三ヶ月に一回はなにかしらの活動が

後は、行動のみ！！



JPUG九州支部活動内容

- 年に一回のお招きセミナー(60~100名程度)
- 毎月の定例会
毎月第二金曜日19:00~、定例会を開いています。たとえば、勉強会や、セミナーの下準備や東京カンファレンスのフィードバック等々
- 支部勉強会(年2~3回、30名程度)
postgresql.confファイルを読む、等。

規模はおいといて、活動できてるよね



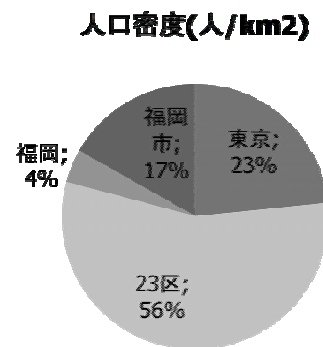
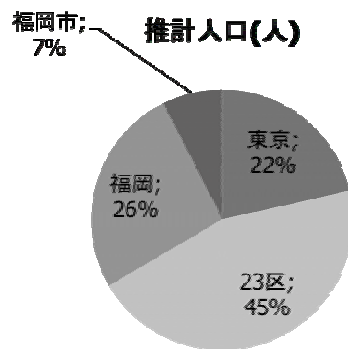
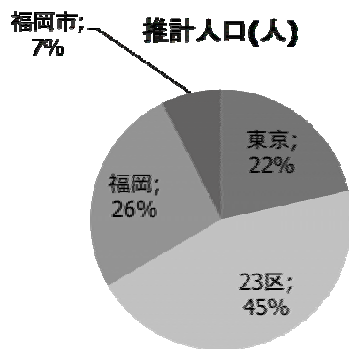
比較 (東京都と福岡県)

東京都 (23区)

面積 2,187.58km²(621.81km²)
推計人口 12,893,525人(8,732,240人)
人口密度 5,890人/km²(14,043人/km²)

福岡県 (福岡市)

面積 4,976.5km²(340.96km²)
推計人口 5,060,460人(1,437,214人)
人口密度 1,020人/km²(4,220人/km²)

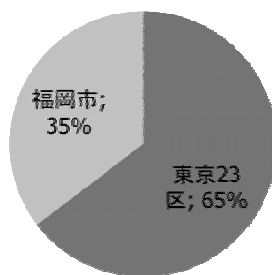


データは、wikipediaより、人口等は、2008年9月1日現在のデータ

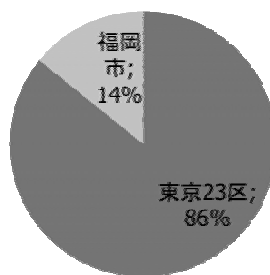


比較 (東京23区と福岡市)

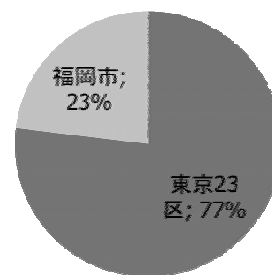
面積(km²)



推計人口(人)



人口密度(人/km²)



人口で6倍、人口密度で3.4倍の差



ここで素朴な疑問??

地方は人が集まらないとか、盛り上がらないとか
ネガティブな意見もありますが、

- 人口の規模が1 / 6なら、集客も1 / 6 ?
- 盛り上がりも1 / 6 ?
- 情報量も1 / 6 ?

そんなわけ無い



問題なのは

- 人が集まらないし……
- どうせ、毎回来る人同じ人だし……
- スピーカーが居ないし……
- 行政がするでしょ……

と思ってる
こちら側の気持ちの問題なのでは？



地方の、オリジナリティーって？

- 特にない…、簡単に人が繋がるくらい？
- 単一イベントより、複合イベントの方が盛り上がる？

逆に言えば

地方だから出来ないという事はない。
福岡は結構恵まれてる。(東京に近い)

土地それぞれの制約はどこでもある。



地方で、活動を行って良かった事

- 交流が持てる
 - 交流が少ないシステム事業部。
- 仕事外での人脈(友達)の形成
 - 東京、地方(全国の)問わず。
 - 色々相談できます。
- やっぱ、好きだから。楽しいし。
- お金になった事もあり。ちゃんとビジネス。(でも、それ目当てだと続かないかも…)
- 個人としての広がりがみえた。



地方で、活動を行って難しい事

- 活動の人数の問題。
- 新陳代謝がなかなか。
- お金の問題、会場や東京からお招きする場合の費用等。
- やはり、僕のやる気で活発さが左右されてしまう現実。
- ノウハウの共有。
- スピーカーに限られる。
(運営はスキルがなくてもできます。)

全国どこでも同様の悩みがある。
東京でも同じ。



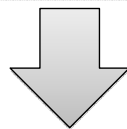
これから、コミュニティを形成したい人へ

少しだけ、テクニク的な事を



コミュニティを成功に導く勝手な法則

他のコミュニティにも参加しよう！



人が少ない分、横の連動を
口コミ宣伝がはやい。

- めげない、がんばり過ぎない。
- 続ける(継続は力なり)、続く仕組みを考える。(定例会等)
- ML必須。
- 学生をつかまえると楽かも……、毎年新人は入ってくる！！



コミュニティを成功に導く勝手な法則

- 活動実績をつくる
予算がない -> とりあえず集まって話だけ -> 活動意欲の減退

危険なのは、疲弊していく事。

- 勉強会など、実績に残る活動を行う。
-> 活動内容があると、企業や、行政(市や県)が協力しやすくなる。
-> 行政からは、無理せず協賛や後援と名前からかりましょう。
- 活動実績をつねに公開(web等)
-> 内向けでなく外向けの意識を忘れない。
-> 広がりを考える。

勉強会やセミナーを定期的に行う。



コミュニティを成功に導く勝手な法則

- 講師の問題(スピーカーが居ない)
 - **自分でしゃべろう**
 - 勉強する。覚える。一石二鳥。
 - 最先端の人がけっこう、教えてくれる。
 - ネタは、東京の練り直しでOK。
 - ゼロから作らなくても、色々な人が公開してくれてる。
- 本部(東京)との、ハブの意識を。
- かなり重要、かかさず飲み会。



まとめ

継続する事が大切です。



ご清聴ありがとうございました。



ユーザ会でまっています。

